

国際賞（特別賞）講演

— 第2日 9月20日（土）10:00~12:00 —

大講堂

ITSL01 知覚を測る—知覚研究 57 年を顧みて

講演者	日本心理学会 名誉会員	大山 正
司会者	目白大学	岩崎庸男

講演者の紹介

1928年，東京生まれ。

[学歴] 1951年，東京大学文学部（心理学）卒業。1956年，東京大学大学院特別研究生修了。1961年，文学博士。1963～64年，フルブライト研究員としてコロンビア大学留学。

[職歴] 北海道大学文学部講師，同助教授，千葉大学文理学部助教授，同人文学部教授，東京大学文学部教授，日本大学文理学部教授，同学部長，同大学院非常勤講師を歴任。

[学会等] 1956年，日本心理学会より速水賞受賞。日本心理学会編集委員，常務理事，同編集委員長，国際心理科学連合日本代表，国際応用心理学会理事，日本学術会議会員，日本アニメーション学会長，Psychologische Forschung, 心理学評論, Psychologia, 基礎心理学研究, Perception, Applied Cognitive Psychology 等の編集委員を歴任。

現在，日本心理学会・日本色彩学会・日本アニメーション学会名誉会員。

主要研究テーマ：実験心理学（特に知覚，認知），心理学研究法，心理学史

講演の内容

50 数年にわたる自分の知覚研究を振り返ってみると，私はごく普通の知覚現象を取り上げて，それらの本来主観的な現象を客観的量的に測定することと，それらの現象の規定条件との関数関係を明らかにすることに専心してきたように思われる。取り上げた現象は図形残効，図-地反転，透明視，進出色-後退色，膨張色-収縮色，同心円錯視，色と形の感情効果，明るさの恒常性，大きさの恒常性，色の対比，ツェルネル錯視，運動速度，注意の範囲，期待と反応時間，仮現運動，群化要因などであり，用いた方法は精神物理学的測定法，多肢反応生起時間測定法，移調法，セマンティック・ディファレンシャル (SD) 法，反応時間法，多次元尺度法，因果推定法などである。本講演では，これらの研究を測定法の観点から分類し，測定法の基本原理を考察するとともに，研究成果の体系化について若干の理論的考察を試み，心理学全体の中における位置づけを考えたい。

主な著書・論文

大山 正 2000 視覚心理学への招待 サイエンス社 2000

Oyama, T. 1956 Temporal and spatial factors in figural after-effects. *Japanese Psychological Research*, no. 3, 25-36.

Oyama, T. 1960 Figure-ground dominance as a function of sector-angle, brightness, hue and orientation. *Journal of Experimental Psychology*, 60, 299-305.

Oyama, T. & Hsia, Y. 1966 Compensatory hue shift in simultaneous color contrast as a function of separation between inducing and test fields. *Journal of Experimental Psychology*, 71, 405-413.

Oyama, T. & Jitsumori, M. 1973 A behavioral study of color mixture in the carp. *Vision Research*, 13, 2229-2308

Oyama, T. 1974 Perceived size and perceived distance in stereoscopic vision and an analysis of their causal relations. *Perception and Psychophysics*, 17, 175-181.

Oyama, T., Yamada, H., & Iwasawa, H. 1998 Synesthetic tendencies as the basis of sensory symbolism: A review of a series of experiments by means of semantic differential. *Psychologia*, 41, 203-215.

Oyama, T., Simizu, M., & Tozawa, J. 1999 Effects of similarity on apparent motion and perceptual grouping. *Perception*, 28, 739-748.